



KAKUDAI

セクター切替部

104-017
104-018

施工説明書

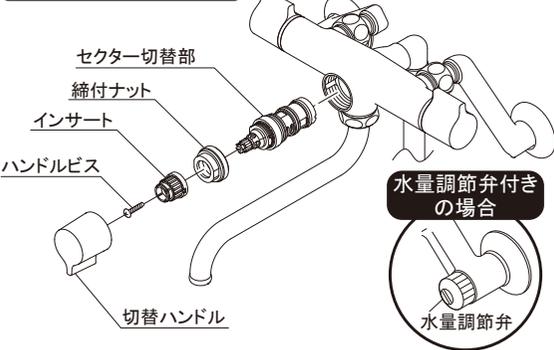
施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

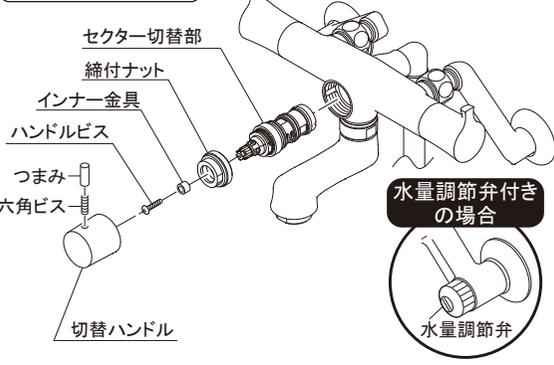
取付方法

* 取付けの際は、混合栓に付属の取扱説明書および施工説明書を合わせて参照してください。

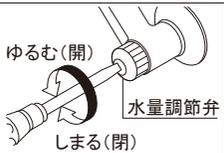
ワンタッチ着脱式ハンドル



ビス止め式ハンドル



1. 湯・水側の水量調節弁を閉めて止水します。



湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで右方向にまわして止水します。

* この時、水量調節弁が何周まわって止まったのかを覚えておいてください。

* 水量調節弁がない混合栓の場合は、止水栓または元栓を閉めて止水してください。



注意 切替ハンドルおよび湯・水ハンドルを吐水状態にしても水栓から水が出ないかを確認してください。止水不良により水が漏れ、家財に損害を与える恐れがあります。

2. 混合栓本体をクランクから取外します。



「レンチ」などでクランクナットをゆるめて、混合栓本体とクランクパッキンをクランクから取外します。

* 取外したクランクパッキンは後で使用しますので、なくさないようにご注意ください。



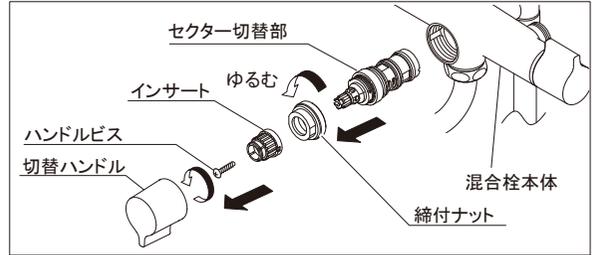
注意 ● 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
● 混合栓本体を取外す際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

取付方法(つづき)

* 手順3、4はハンドルの固定方法により異なります。

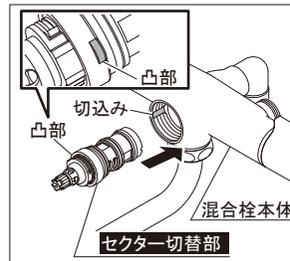
● ワンタッチ着脱式ハンドルの場合

3. 古いセクター切替部を取外します。

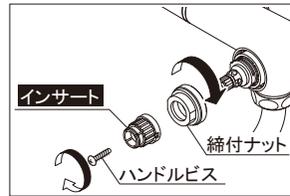


- ① 切替ハンドルを抜取ります。
- ② 「プラスドライバー」でハンドルビスをゆるめて、インサートを取外します。
- ③ 締付ナットを「レンチ」などで取外します。
- ④ 古いセクター切替部を「プライヤー」などで抜取ります。

4. 新しいセクター切替部を取付けます。



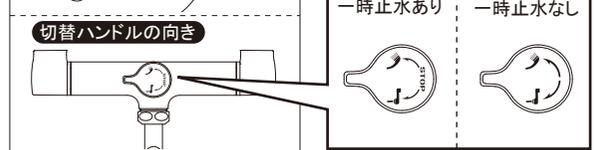
① 混合栓本体の切込みに新しいセクター切替部の凸部を合わせて、奥までしっかり押込みます。



- ② 締付ナットを「レンチ」などで締付けます。
- ③ 新しいインサートを差込み、「プラスドライバー」で新しいハンドルビスを取付けます。



④ セクター切替部を時計まわりいっぱいまでまわしてから、切替ハンドルをイラストのようにはめ込みます。

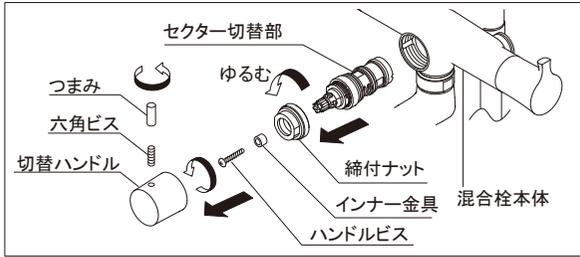


- セクター切替部を交換する際は、混合栓本体をしっかり支え、軍手・あて布などを使用して作業を行ってください。手などにケガをする恐れがあります。
- 締付ナットは十分に締付けてください。施工不良によりセクター切替部が正常に機能しない恐れがあります。
- セクター切替部は絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

取付方法(つづき)

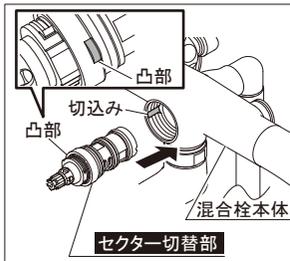
●ビス止め式ハンドルの場合

3. 古いセクター切替部を取外します。

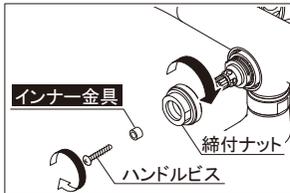


- ①つまみ、六角ビスをゆるめて切替ハンドルを外します。
- ②「プラスドライバー」でハンドルビスをゆるめて、インナー金具を取外します。
* インナー金具、ハンドルビスは再度使用しますので、なくさないようにしてください。
- ③締付ナットを「レンチ」などで取外します。
- ④古いセクター切替部を「プライヤー」などで抜取ります。

4. 新しいセクター切替部を取付けます。



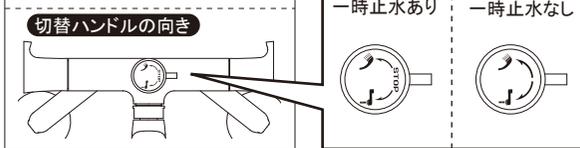
- ① 混合栓本体の切込みに新しいセクター切替部の凸部を合わせて、奥までしっかり押し込みます。
* 本品に同梱のインサート、ハンドルビスは使用しません。



- ② 締付ナットを「レンチ」などで締付けます。
- ③ ②で取外したインナー金具を新しいハンドルビスにはめ込み、「プラスドライバー」でハンドルビスをセクター切替部に取付けます。



- ④ セクター切替部を時計まわりいっぱいまでまわしてから、切替ハンドルをイラストのようにはめ込みます。
- ⑤ 六角ビス、つまみを取付けます。



注意

- セクター切替部を交換する際は、混合栓本体をしっかり支え、軍手・あて布などを使用して作業を行ってください。手などにケガをする恐れがあります。
- 締付ナットは十分に締付けてください。施工不良によりセクター切替部が正常に機能しない恐れがあります。
- セクター切替部は絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

5. 混合栓本体をクランクに取付けます。

- ①クランクに2.で取外したクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体を取付けます。
- ②「レンチ」などでクランクナットを均等に締付けて混合栓本体を固定します。

注意

- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取付ける際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

6. 湯・水側の水量調節弁を開きます。

- ①切替ハンドルおよび湯・水ハンドルを止水状態にしてから、湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで1.でまわした回数だけ左方向にまわして開き、各部に水もれがないかを確認します。
* 水量調節弁がないタイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を開いてください。
- ②湯・水ハンドルを吐水状態にしてから切替ハンドルをまわし、吐水の切替えおよび止水ができるかを確認します。
* 正常に切替えおよび止水ができない場合は、セクター切替部を施工し直してください。
* 水もれが発見された場合は、水量調節弁を閉めて水もれする箇所を施工し直してください。

注意

水量調節弁を開く際は、切替ハンドルおよび湯・水ハンドルが止水状態であることを確認してください。止水不良により水が漏れ、家財に損害を与える恐れがあります。